



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	146,560	21.5	4,009	95.8	4,322	77.7	2,968	81.5
29年3月期第3四半期	120,671	4.3	2,047	25.7	2,432	26.2	1,635	27.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,166百万円 (315.5%) 29年3月期第3四半期 762百万円 (60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	112.74	
29年3月期第3四半期	62.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	78,668	55,847	70.9
29年3月期	72,715	53,419	73.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 55,804百万円 29年3月期 53,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		14.00		14.00	28.00
30年3月期		14.00			
30年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	18.4	4,800	62.1	5,200	50.3	3,560	45.0	135.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	28,908,581 株	29年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,575,441 株	29年3月期	2,575,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	26,333,360 株	29年3月期3Q	26,333,758 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き企業収益や雇用情勢の改善などが進み、景気の回復基調が続きましたが、個人消費は力強さを欠く状況で推移しました。また、先行きについては、国内の労働力不足に対する懸念や世界経済の不確実性など不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの貴金属関連事業においては、国内外の生産拠点活用と営業展開の強化を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高146,560百万円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益4,009百万円（前年同四半期比95.8%増）、経常利益4,322百万円（前年同四半期比77.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,968百万円（前年同四半期比81.5%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、半導体・電子デバイス分野を中心に引き続き生産状況は好調に推移しました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量が増加し、銀製品の販売量は減少したものの、金製品及び電子材料等の販売量は増加し、貴金属販売価格の上昇もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は92,770百万円（前年同四半期比23.6%増）、営業利益は2,672百万円（前年同四半期比126.1%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、国内の個人消費が伸び悩む中で、海外展開の拡大などにより、生産状況は概ね堅調に推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、水産品及び畜産品の販売数量が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は53,836百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は1,336百万円（前年同四半期比54.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,952百万円増加し、78,668百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,523百万円増加し、22,820百万円となりました。これは主として借入金の増加によるものです。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,428百万円増加し、55,847百万円となりました。これは主として配当金の支払いを上回る利益剰余金の増加によるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、850百万円となりました。

## (営業活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は388百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費による資金の増加と、売上債権の増加、たな卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の1,512百万円の資金の減少に比べ1,124百万円増加しました。

## (投資活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は1,481百万円となりました。これは主として工場用土地及び設備等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,634百万円の支出に比べ153百万円の支出減少となりました。

## (財務活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は1,913百万円となりました。これは主に配当金の支払いを上回る借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の35百万円の資金の減少に比べ1,948百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成29年11月9日に当初の計画を上方修正いたしました。取扱量の拡大に加えて貴金属価格の上昇による影響から、さらに想定を上回る見通しであります。この状況を踏まえて平成30年3月期の通期連結業績予想を平成29年11月9日に公表した予想値から下記のとおり修正いたしました。

平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 190,000	百万円 4,000	百万円 4,400	百万円 2,980	円 銭 113.16
今回修正予想(B)	193,000	4,800	5,200	3,560	135.19
増減額(B-A)	3,000	800	800	580	—
増減率(%)	1.6	20.0	18.2	19.5	—
(ご参考)前回実績 (平成29年3月期)	163,054	2,960	3,459	2,454	93.21

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,784	6,850
受取手形及び売掛金	19,954	24,572
商品及び製品	14,226	14,929
仕掛品	404	431
原材料及び貯蔵品	6,311	6,490
繰延税金資産	449	342
その他	2,698	2,554
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	50,820	56,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,835	9,074
減価償却累計額	△4,597	△4,847
建物及び構築物(純額)	4,237	4,227
機械装置及び運搬具	8,254	8,382
減価償却累計額	△6,092	△6,597
機械装置及び運搬具(純額)	2,161	1,784
土地	7,791	8,470
リース資産	644	805
減価償却累計額	△197	△241
リース資産(純額)	446	564
建設仮勘定	42	138
その他	1,083	1,168
減価償却累計額	△903	△954
その他(純額)	180	213
有形固定資産合計	14,859	15,398
無形固定資産		
その他	895	801
無形固定資産合計	895	801
投資その他の資産		
投資有価証券	4,470	4,730
繰延税金資産	3	3
その他	1,733	1,633
貸倒引当金	△68	△64
投資その他の資産合計	6,139	6,303
固定資産合計	21,894	22,503
資産合計	72,715	78,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,223	8,559
短期借入金	1,993	5,580
1年内返済予定の長期借入金	994	795
リース債務	127	199
未払法人税等	572	783
賞与引当金	744	363
その他	3,184	3,446
流動負債合計	15,840	19,728
固定負債		
長期借入金	1,598	1,001
リース債務	318	470
繰延税金負債	636	673
役員退職慰労引当金	565	594
執行役員退職慰労引当金	16	22
退職給付に係る負債	228	236
その他	92	92
固定負債合計	3,456	3,092
負債合計	19,296	22,820
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	47,515	49,747
自己株式	△3,009	△3,009
株主資本合計	52,074	54,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	627	689
繰延ヘッジ損益	△30	△48
為替換算調整勘定	810	936
退職給付に係る調整累計額	△91	△78
その他の包括利益累計額合計	1,315	1,498
非支配株主持分	29	43
純資産合計	53,419	55,847
負債純資産合計	72,715	78,668

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	120,671	146,560
売上原価	109,010	132,510
売上総利益	11,660	14,049
販売費及び一般管理費	9,612	10,039
営業利益	2,047	4,009
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	20	22
投資有価証券売却益	3	0
持分法による投資利益	419	359
仕入割引	10	11
為替差益	81	-
その他	32	58
営業外収益合計	572	458
営業外費用		
支払利息	24	38
為替差損	-	66
投資有価証券評価損	125	17
その他	37	23
営業外費用合計	187	145
経常利益	2,432	4,322
税金等調整前四半期純利益	2,432	4,322
法人税、住民税及び事業税	610	1,220
法人税等調整額	173	118
法人税等合計	784	1,339
四半期純利益	1,648	2,983
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,635	2,968

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,648	2,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	62
繰延ヘッジ損益	198	△18
為替換算調整勘定	△1,022	155
退職給付に係る調整額	25	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△185	△28
その他の包括利益合計	△885	183
四半期包括利益	762	3,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753	3,152
非支配株主に係る四半期包括利益	9	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,432	4,322
減価償却費	947	1,017
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△227	△380
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34	27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	29
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	5
受取利息及び受取配当金	△26	△28
支払利息	24	38
持分法による投資損益(△は益)	△419	△359
売上債権の増減額(△は増加)	△4,850	△4,547
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37	△840
仕入債務の増減額(△は減少)	1,043	272
その他	285	834
小計	△840	385
利息及び配当金の受取額	164	180
利息の支払額	△24	△38
法人税等の支払額	△813	△916
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,512	△388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,380	△1,470
有形固定資産の売却による収入	8	0
無形固定資産の取得による支出	△200	△28
投資有価証券の取得による支出	△13	△9
投資有価証券の売却による収入	5	0
その他	△54	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,634	△1,481
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,660	3,586
長期借入金の返済による支出	△864	△795
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△737	△737
その他	△93	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35	1,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△408	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,590	66
現金及び現金同等物の期首残高	9,524	6,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,934	6,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,065	45,605	120,671	—	120,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	46	△46	—
計	75,065	45,652	120,718	△46	120,671
セグメント利益	1,181	866	2,047	—	2,047

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,770	53,789	146,560	—	146,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	46	△46	—
計	92,770	53,836	146,606	△46	146,560
セグメント利益	2,672	1,336	4,009	—	4,009

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。